

## 小学校第5学年 社会科学学習指導案

日 時 平成30年6月19日(火)  
指導者 教育センター所員 四島 誠

### 1 単元名

「米づくりのさかんな地域」(東京書籍5年上 pp.74-91)

### 2 単元について

#### (1) 単元観

本小単元は、新学習指導要領の第5学年の目標及び内容(2)を受け、設定したものである。具体的には、「我が国の農業における食料生産について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、各種の資料で調べ、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること」「食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること」「我が国の農業における食料生産について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うこと」をねらいとする内容として位置付けられている。

わたしたちが日頃食べている米は、農業に関わる人々の様々な工夫や努力によって届けられている。品種改良や生産の効率を高めるための技術の改良、味の向上や安全確保などの工夫や努力が行われているおかげで、新鮮で良質な米が生産されている。しかし、現在、農業を取り巻く現状は、国民の食生活の変化による米の消費量の減少や農業従事者の高齢化などに伴う生産量の減少といった問題を抱えており、厳しい状況にあると言える。そのような状況の中で、様々な課題を解決するために、農業に関わる人々は様々な工夫や努力を行っている。本小単元では、日本人の主食である米の生産について、農業に関わる人々が新鮮で良質な米を生産し、消費地へ届ける工夫や努力をしていることを調べることを通して、農業が、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考えるようにすることをねらいとしている。また、その土地の地形や気候など自然環境を生かし生産性を高める工夫をしていることについて考えさせることを通して、社会的事象の意味についても考えることにつながると考え、本単元を設定した。

#### (2) 児童観

本学級の児童に、事前に社会科の学習についての実態調査を行った。その結果、調べる活動において、調べることをはっきり分かって学習に臨むことができている児童がほとんどであった。「分からないことがあるときにどうするか」という質問には、「教科書や資料集を使って調べる」と答えた児童が37名中30名で最も多く、「インターネットを活用する」と答えた児童が11名、「家庭で聞く」と答えた児童は7名であった。また、「自分で調べて分かったことや考えたことを基に進んで話し合ったり、ノートやワークシートなどに書いたりすることができる」とほとんどの児童が答えている。「調べる活動をするときに難しいことは何か」という質問には、「資料を探すのが難しい」と答えた児童が15名、「文章を読んで探すのが難しい」と答えた児童が10名、「グラフや表の見方が分からない」と答えた児童は3名であった。

また、家族や親戚が米作りをしている児童は全体の3分の1ほどで、ほとんどが祖父母であるため、日常的に農業と関わりを持っている児童は少ないことが推測される。米作りの仕事についても、経験したことがある児童はほとんどおらず、米作りについての知識も田植え、収穫など、作業を表す用語で答えたものが多く、具体的な作業の内容について理解している児童は少なかった。

#### (3) 指導観

指導に当たっては、「学習問題をつかむ」過程で、米作りの起源とされている土地や米作りが盛んな国が温暖な気候であることに気付かせた上で、日本の米作りが盛んな土地が北海道や東北地方などの寒冷な気候であることに疑問をもたせたい。また、教科書の写真から山形県庄内平野で米作りが盛んなことに気付かせ、学習問題として、「なぜ、庄内平野では、米作りが盛んなのだろうか。」を設定する。そして、学習

問題を解決するためには、よりよい米作りのための工夫や努力、米の種類や値段、輸送などについて調べる必要があることに気付かせ、学習計画を立てさせたい。

「調べる」過程では、農業が盛んな土地の特色や自然環境、農業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどを中心に、教科書や資料集、地図帳などの資料を基に調べる活動を行わせる。調べる活動を行う際、資料の文章量やグラフの数などが多いときには、使用する資料を指定したり、限定したりすることで、調べる活動が苦手な児童に対する手立てとしたい。また、農業に関する具体的な事実を羅列的に調べることに留まらないようにするために、「どのような工夫を何のために行っているか」について考えさせることを通して、事実をまとめ、知識を相互に関連付けることができるようにしたい。さらに、毎時間、学習問題を振り返らせることで、単元を通して、知識を相互に関連付け、米作りについての理解を深めることができるようにしたい。

「考え・まとめる」過程では、これまでのノートやワークシートの記述を振り返らせ、学習問題について自分の考えを新聞にまとめさせる。その際は、農業が盛んな土地の特色や自然環境や農業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどの内容についてまとめさせる。また、農業が抱える問題点だけでなく、農業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることについても考えることができるようにしたい。

### 3 単元目標

我が国の農業における食料生産について、生産量の変化、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や統計などの資料を活用して調べてまとめ、農業に関わる人々の工夫や努力を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割やその働きを考え、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。

### 4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度【関】	社会的な思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の技能【技】	社会的事象についての知識・理解【知】
①我が国の農業の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ②国民生活を支えている我が国の農業の発展を考えようとしている。	①我が国の農業の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②農業に関わる人々がよりよい米作りのために工夫や努力をしていることを考え、適切に表現している。 ③我が国の農業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることについて考え適切に表現している。	①地図や統計などの資料を活用して、我が国の農業の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 ②調べたことを整理して、新聞などにまとめている。	①我が国の食料生産物の分布、土地利用や気候などの特色を理解している。 ②農業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ③生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。

### 5 単元の指導計画（全9時間 本時4／9）

過程	主な学習活動（○）	教師の働きかけ（○）	評価（・）評価の観点【】	時配
	○米の消費量と生産量が減ってきていることから、農業の様子について関心をもち、学習問題を	○日本の米の生産量が減少する中で、なぜ庄内平野では米作りが盛んなのか、疑問をもたせることで、学習問題を設定する。	・我が国の農業の様子に関心をもち、意欲的に気付きや疑問、予想を考えようとしている。 【関①】	1

学習問題をつかむ	設定する。		・我が国の農業の様子について、学習問題を考え、表現している。 【思①】	
	なぜ、庄内平野では、米作りが盛んなのだろうか。(学習問題)			
	○学習問題について予想し、どのようなことを調べればよいか考え、学習計画を立てる。	○児童が学習計画を立てることができるようにするために、米作りが盛んな地域では、どのような工夫をしているのかを考えさせ、児童の予想や気付きをグループや全体で交流する時間を取る。	・学習問題について予想を立て、調べる内容や方法を明確にして、学習計画を立てている。 【思①】	1
調べる	○米の生産が盛んな地域の分布や土地利用、気候などの特色について調べる。	○庄内平野の土地利用図や日照時間などのグラフを読み取らせることで、米の生産が盛んな地域の特色について理解できるようにする。	・我が国の食料生産物の分布、土地利用や気候などの特色を理解している。【知①】 ・地図や統計などの資料を活用して、我が国の農業の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 【技①】	1
	○農業に関わる人々の工夫や努力について調べる。	○庄内平野で行われている米作りの工夫に気付くことができるようにするために、農作業ごよみを基に、米の生産に関わる仕事や工夫について考えさせる。	・庄内平野で行われている米作りの工夫について考え、適切に表現している。 【思②】	1 (本時4/9)
		○農業の作業時間や米の生産費の変化などの資料を読み取らせることで、機械化や共同作業などの地域の人々が協力して米作りを行っていることに気付かせる。	・地図や統計などの資料を活用して、我が国の農業の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 【技①】	1
		○農業に関わる人々が、よりよい米作りを行おうとしていることを理解できるようにするために、農業共同組合や農業試験場などの農家を支えている人々がいることに気付かせる。	・農業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 【知②】	1
○収穫された米がどのように消費者に届けられるかについて調べる。	○収穫された米がどのように消費者に届けられるかを理解できるようにするために、保管や出荷、輸送方法について資料から読み	・生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。 【知③】	1	

		取らせたり，東北地方以外にも出荷している理由について考えさせたりする。		
	○農家の人々が抱える問題について調べる。	○農家の人々が抱える問題について考えさせるために，農業従事者数の変化や高齢化を示すグラフなどを読み取らせる。 ○米の消費量を増やすためのアイデアを，他の児童と交流させることで，これからの米作りについて考えさせる。	・国民生活を支えている我が国の農業の発展を考えようとしている。 【関②】	1
考え・まとめ	○学習問題について，自分の考えをまとめる。	○これまで学習したことを関連付けて，農業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることについて考えさせる。 ○学習問題を振り返らせ，よりよい米作りのために，農家の人々が工夫や努力をしていることを，新聞にまとめさせる。	・我が国の農業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考え適切に表現している。 【思③】 ・調べたことを新聞にまとめている。 【技②】	1

6 本時の目標

庄内平野で行われている米作りの工夫について考え，適切に表現することができるようにする。

【社会的な思考・判断・表現】

7 指導の視点

本時は，新学習指導要領の趣旨を踏まえ，「主体的・対話的で深い学び」の視点を基に，以下の3点に留意し，指導を行う。

- 児童が目的意識を持って，主体的に調べることができるように，調べる活動の前に，曖昧な知識を揺さぶったり，予想を引き出したりする。
- 必然性のある対話的な活動にするために，児童が教師の発問に対し，迷ったり困ったりして，力を合わせて結論を求める必要が生じた場面に，他の児童と考えを比較させたり，よりよい米作りのための工夫を行う理由について話し合う活動を取り入れる。
- 知識を相互に関連付けてより深く理解することができるように，よりよい米作りのための工夫について考えさせる際，農事ごよみから用語を抜き出させるのではなく，行っている理由について考えさせる発問や総合的に捉えさせる発問を行う。

8 本時の展開 (4/9)

	学習活動	指導・支援 (○) と評価 (【I】)
導入	1 本時のめあてをつかむ。	○児童が米作りでどのような仕事や工夫があるのか疑問をもつことができるように，前時の学習内容を想起させ，学習問題を解決するためにどのようなことを調べるかどうか考えさせる。

	<p>めあて 庄内平野では、米作りでどのような工夫をしているのか調べよう。</p>	
<p>展 開</p>	<p>2 米作りの仕事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種まき…種をまく</li> <li>・田おこし…田を耕す</li> <li>・代かき…田に水を入れならす</li> <li>・田植え…なえを植える</li> <li>・稲刈り…稲を収穫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が意欲的に調べる活動を行うことができるように、種まきから稲刈りまでにどのような仕事があるのか、予想を引き出していく。</li> <li>○5つの仕事の順序を予想させる際、考えを修正しやすいように、仕事をしている写真を貼った付箋を使って考えることができるようにする。</li> <li>○教科書の資料から読み取ったり、映像を視聴したりして分かったことを整理することができるように、それぞれの仕事内容や時期についてワークシートに記入させる。</li> <li>○児童が米作りの仕事について、具体的にイメージをすることができるように、仕事を紹介した動画を流す。</li> <li>○調べる活動をスムーズに行うことができるように、教科書や資料集の資料を焦点化して示す。</li> </ul>
	<p>3 米作りで行なわれている工夫について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬をまく</li> <li>・じょ草ざいをまく</li> <li>・たい肥をまく</li> <li>・肥料をあたえる など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5つの仕事以外にも農薬をまくなどの様々な工夫をしていることに気付くことができるように、農作業ごよみから米作りの工夫だと考えられるものを選ばせる。また、選んだ工夫が何のために行われているかについても考えさせ、他の児童と考えを交流させる。</li> </ul>
	<p>4 工夫を行っている理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種を選ぶ …中身のつまったよい種を選ぶ</li> <li>・たい肥をまく …土にえいようを与える</li> <li>・中干し …根をよくのびるようにする</li> <li>・農薬をまく …稲に虫がつかないようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの工夫を行う理由について教科書や資料集を基に考えさせる。 <b>【社会的な思考・判断・表現】</b></li> <li>○工夫について考えることが難しい児童には、隣やグループの友達の考えを参考にするように伝える。</li> <li>○「中干し」「みぞをほる」など、何のために行っているか分かりにくい工夫を取り上げ、行っている理由をグループで調べさせる。</li> <li>○それぞれの工夫が何のために行なわれているか考えさせることで、栄養のある土作りや水の管理、丈夫な稲を育てるためなどであることに気付くことができるようにする。</li> </ul>
<p>終 末</p>	<p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年間の様々な仕事における工夫についてまとめさせ、本時の振り返りをさせる。</li> <li>○次時の学習の見通しをもつことができるように、本時の学習の振り返りを基に、学習問題を解決するために調べることを確認する。</li> </ul>

## 9 本時の評価規準と判定基準

評価規準	庄内平野で行われている米作りの工夫について考え、適切に表現している。 【社会的な思考・判断・表現】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	庄内平野で行われている米作りの工夫について調べ、複数の工夫について行っている理由を考えることができる。	庄内平野で行われている米作りの工夫について調べ、1つの工夫について行っている理由を考えることができる。	(B)に達していない記述・発言
→(B), (C)と判断した児童への支援		→他の工夫についても行っている理由を考えるように伝える。	→隣の席やグループ内で交流し、友達の考えを参考にするように伝える。
評価方法	ワークシートの記述, 発言の内容		